

リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果 (令和5年2月実施)

1. 回答の状況

振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	142	44	31.0
県中	142	58	40.8
県南	80	34	42.5
会津	61	20	32.8
南会津	13	5	38.5
相双	89	32	36.0
いわき	108	42	38.9
計	635	235	37.0

2. 回答の内容

Q1. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。(複数回答可)

	実施済み	割合(%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	83	35.3%
2 社内勉強会、研修会の開催	76	32.3%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	20	8.5%
4 工場見学会の実施	58	24.7%
5 地域と連携した防災訓練の実施	16	6.8%
6 地域への説明会の実施	103	43.8%
7 地域の方々への個別訪問	10	4.3%
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	12	5.1%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明(会の設営、主催は地域の方々)	22	9.4%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	24	10.2%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	22	9.4%
12 環境(CSR)報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい)	100	42.6%
13 広報誌等の作成、配布	140	59.6%
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	85	36.2%
15 その他	11	4.7%

Q2. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。

- ・ 矢吹町花いっぱい運動
- ・ ISO14001
- ・ ISO14001の運用
- ・ 地域のお祭りへの寄付 町内活動への寄付
- ・ 遊休地を「さくら公園」として開放している。（桜の木はまだまだ小さい）
- ・ 親会社（日本曹達）が発行している日曹グループESGデータ集に環境データ（PRTR・廃棄物の排出量など）が掲載され、親会社のWebサイトに公表されている。
- ・ 取り扱い薬品の、新任研修（社内研修）
- ・ 環境ISO活動を通じた取り組み
- ・ 福島工業団地立地企業連絡協議会でのSDGs推進宣言
- ・ 中学生・高校生の職場体験
- ・ 地域の花火大会への協賛

Q3. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）

	予定している	割合 (%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	32	13.6%
2 社内勉強会、研修会の開催	51	21.7%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	12	5.1%
4 工場見学会の実施	28	11.9%
5 地域と連携した防災訓練の実施	12	5.1%
6 地域への説明会の実施	53	22.6%
7 地域の方々への個別訪問	8	3.4%
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	3	1.3%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明（会の設営、主催は地域の方々）	9	3.8%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等（会の設営、主催は地域の方々）	11	4.7%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	9	3.8%
12 環境（CSR）報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい）	47	20.0%
13 広報誌等の作成、配布	57	24.3%
14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示	33	14.0%
15 その他	7	3.0%

Q4. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。

- ・ 特になし
- ・ 矢吹町花いっぱい運動
- ・ 現在実施している取組み以外に今後予定しているものは現時点ではありません
- ・ 現状実施している事項を継続します。
- ・ なし
- ・ 福島工業団地立地企業連絡協議会での定期的会合
- ・ 地域の花火大会への協賛

Q5. リスクコミュニケーション等への取組みを実施する理由は何ですか。（複数回答可）

回答事業者数	190
--------	-----

		選択事業者数	割合 (%)
1	企業としての社会的責任のため	169	88.9%
2	企業イメージを向上させるため	64	33.7%
3	住民等から要請があったため	7	3.7%
4	住民等と良好な関係を築くため	72	37.9%
5	過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	3	1.6%
6	環境保全、リスク管理等の社員教育のため	80	42.1%
7	行政から指示があったため	14	7.4%
8	本社、関連会社等の方針	80	42.1%
9	その他	5	2.6%

Q6. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください

- ・ IS014001の一環として実施
- ・ 工業団地内の定期的な清掃活動
- ・ 全国宅地擁壁技術協会の環境基準があり、それに対応するため。
- ・ 取引先さまからの要望
- ・ 法令上のための測定。

Q7. リスクコミュニケーション等への取組みを実施しない理由は何ですか。（複数回答可）

回答事業者数	47
--------	----

		選択事業者数	割合 (%)
1	コストがかかるため	5	10.6%
2	人手がないため	23	48.9%
3	地域とのつながりがないため	12	25.5%
4	リスクコミュニケーションを実施する知識、スキルがないため	24	51.1%
5	必要性が感じられないため	2	4.3%
6	その他	7	14.9%

Q8. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。

- ・ 社内ルールにより徹底した運用管理を行っているため
- ・ 新型コロナウイルスの影響によりコミュニケーションの場を作り難いのが現状です。
- ・ 見学会を開いても、どのような人が来るか保証もなく、かえって個人情報の漏洩であったり、心配なことが増えるため。
- ・ 敷地内合同事業所の一部であり個別対応の計画はない
- ・ 対象となる化学物質は取り扱っていないため
- ・ 近隣地区民があまり関心がないため
- ・ 従業員に対しては、化学物質の教育実施済み
- ・ 化学物質の使用量が少なく漏洩リスクも無い
- ・ 工業団地内のため近隣に住居者はいない
- ・ 隣接企業から苦情はない

Q9. リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。（複数回答可）

回答事業者数	221
--------	-----

		選択 事業者数	割合 (%)
1	リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	138	62.4%
2	リスコミ実施事例の紹介	148	67.0%
3	リスコミについての講習会、講演会	73	33.0%
4	専門家（アドバイザー）の派遣	20	9.0%
5	行政の助言、仲介	46	20.8%
6	行政による場の提供	34	15.4%
7	その他	2	0.9%

Q10. リスクコミュニケーション等で、興味があることがあればご記入ください。

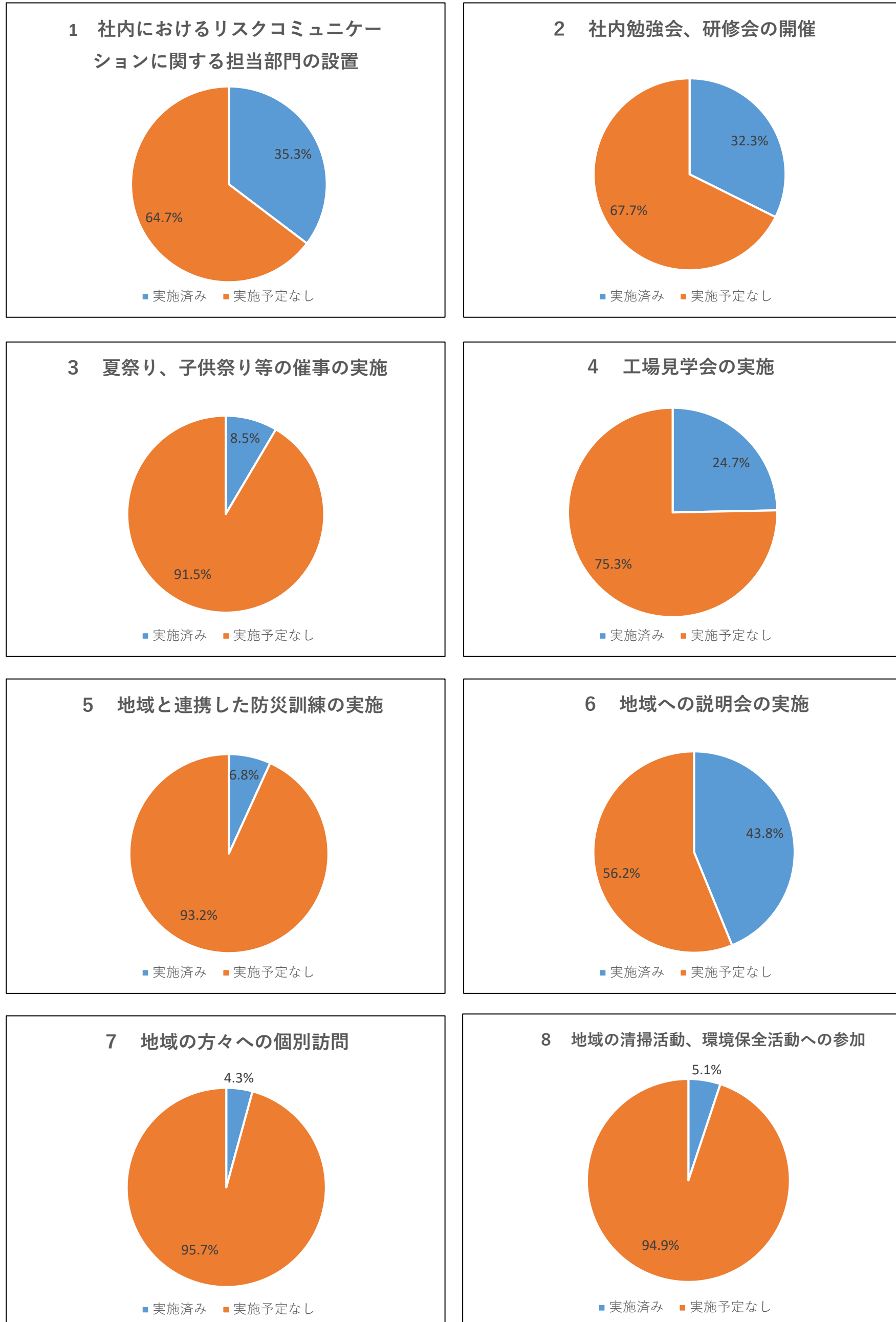
- ・ 同業他社の取り組み状況
- ・ 安衛法改正による化学物質曝露基準のリスクマネジメントに関する手法
- ・ 子供達に向けて、住んでいる地域にはこんな会社があるというのを見せる機会があると環境的な面でも子供達の将来にも刺激になると思います。
- ・ Q12の「整備されている」は「Microsoft Teams」限定。Zoomなど他のアプリは社内規則により使用不可。
- ・ 他社取り組み事例
- ・ 本社経営層を巻き込んだ活動に移行するために、出先事業所へのアプローチに留まらず、国レベルでの動きに進めてほしい。
- ・ 地元小・中学生向け工場見学会
- ・ 当工場が工業団地に立地しているため、あまり地域住民との接点がない。この対応を他社がどのように進めているのかを参考にしたい。
- ・ 取り組み事例
- ・ リスクコミュニケーションの同業者の取り組み例の情報。同地域での他事業者の取り組み例の情報。行政サポートの活用例の情報。

Q11. 外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか。

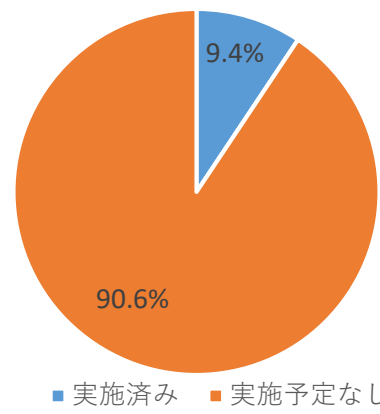
		選択 事業者数	割合 (%)
1	整備されている	202	86.0%
2	今後整備の予定である	15	6.4%
3	整備の予定はない	13	5.5%
4	無回答等	5	2.1%

集 計 結 果 (グ ラ フ)

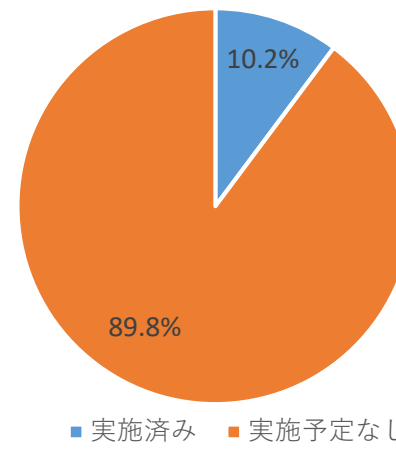
Q 1 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。(複数回答可)



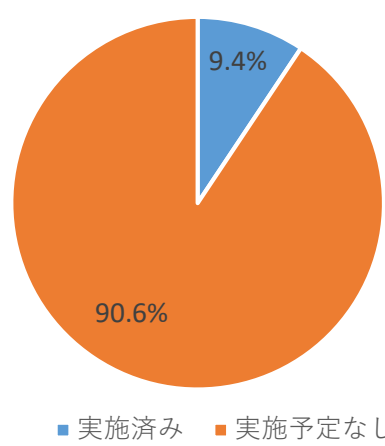
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明
(会の設営、主催は地域の方々)



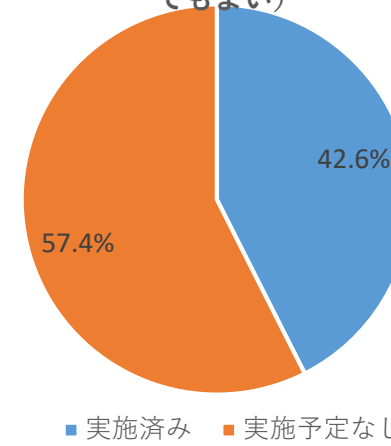
10 地域の方々との懇談会、懇親会等
(会の設営、主催は地域の方々)



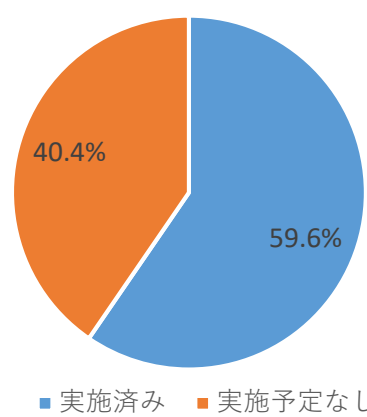
11 小・中学生を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等



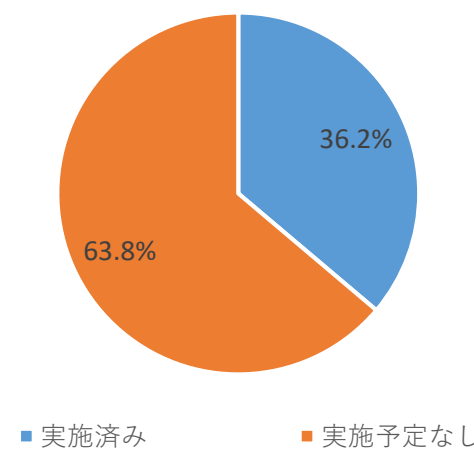
12 環境（CSR）報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい）



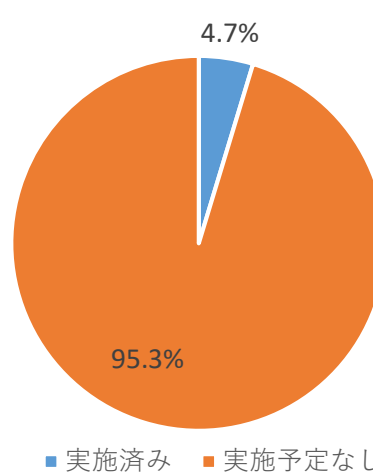
13 広報誌等の作成、配布



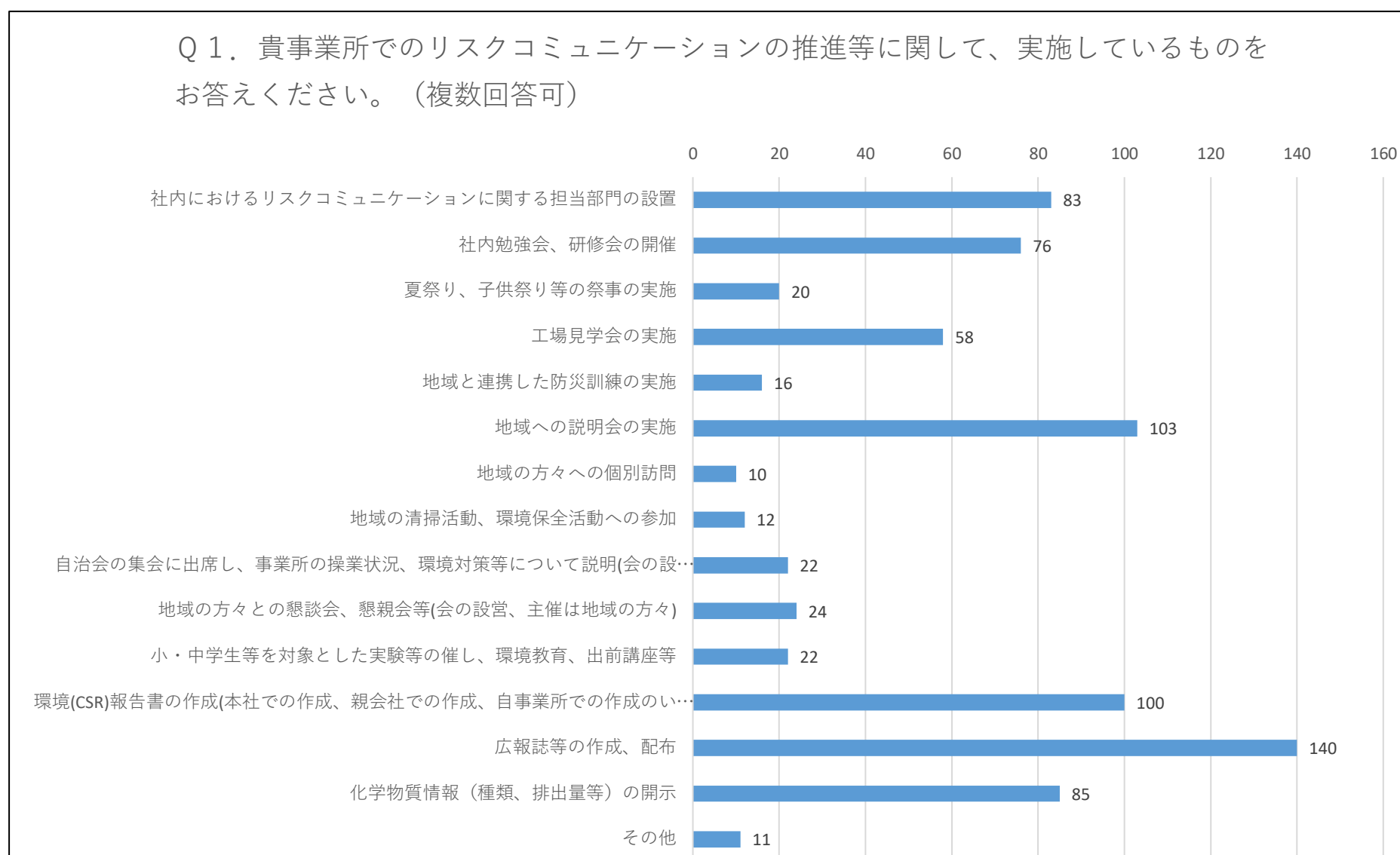
14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示



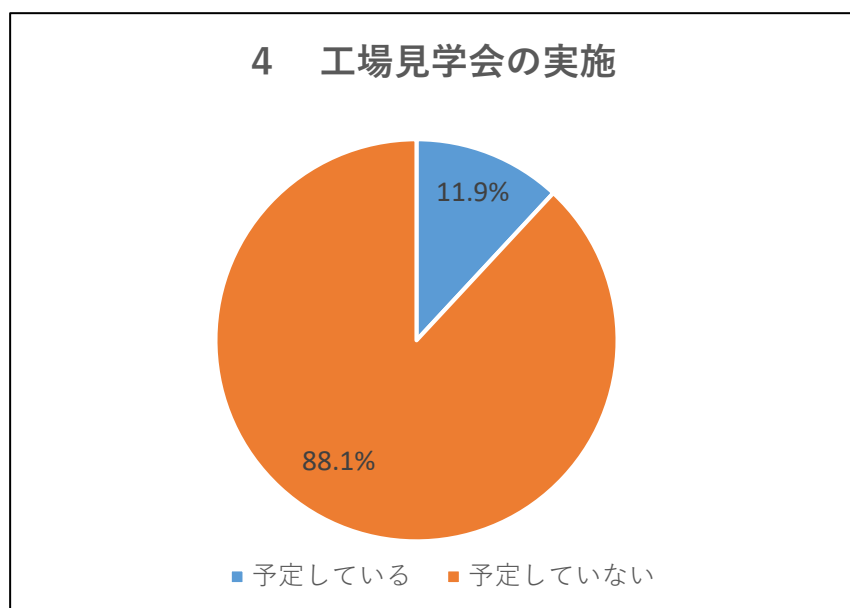
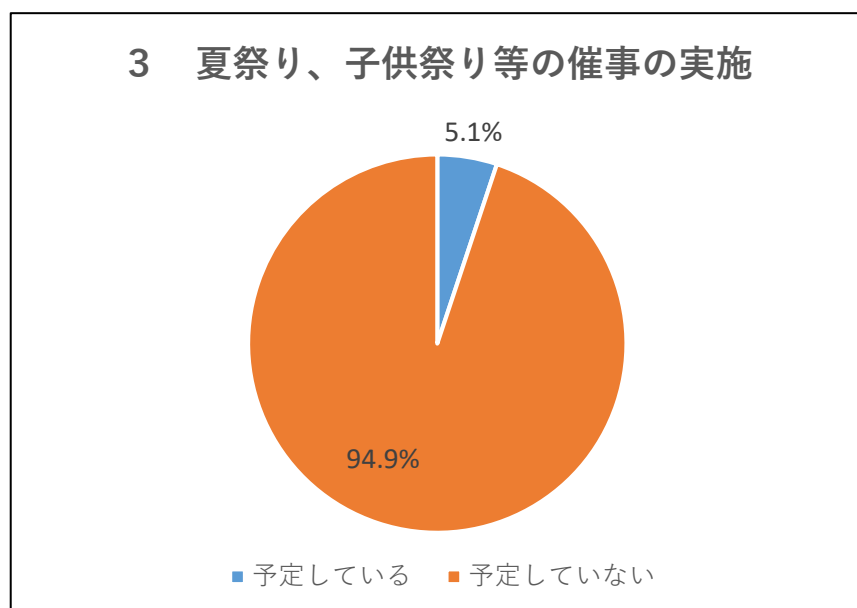
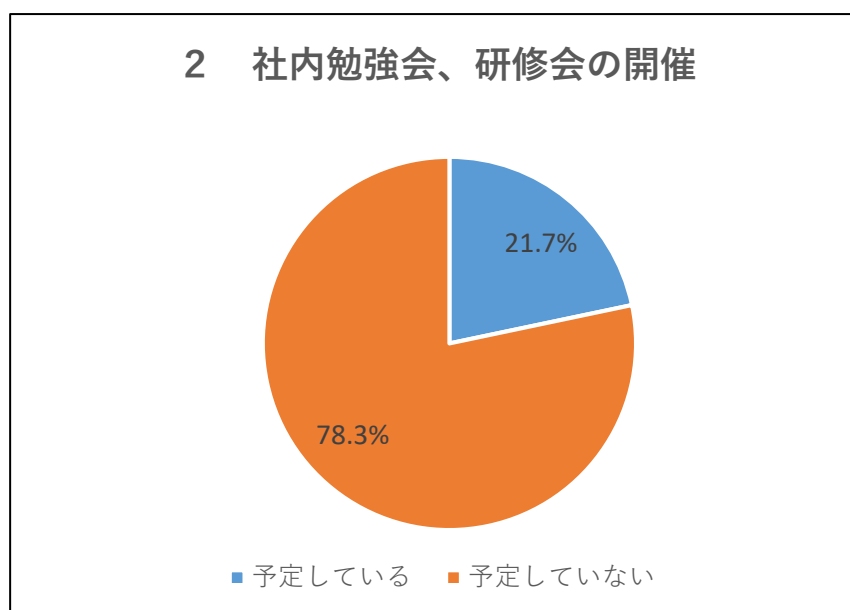
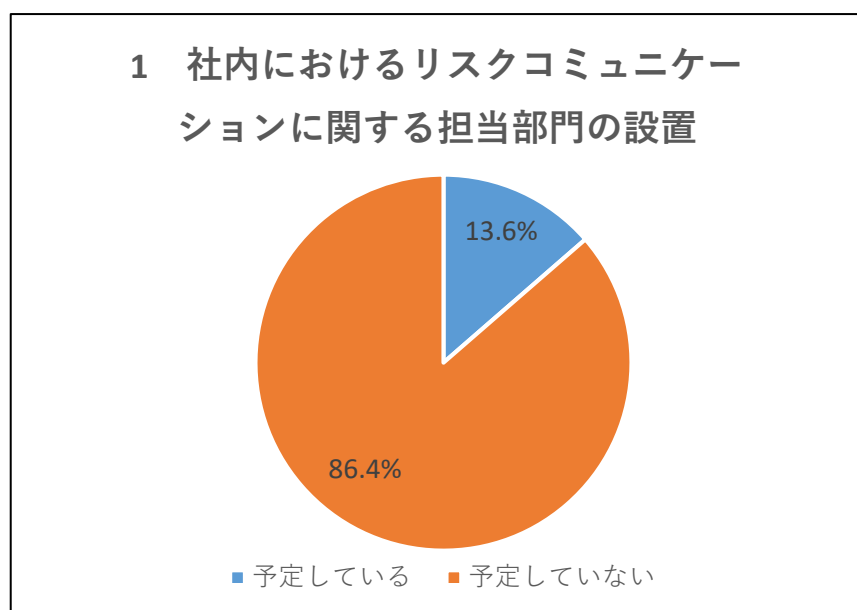
15 その他



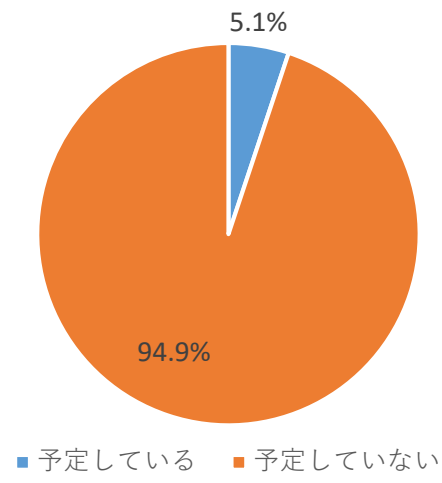
Q 1 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。（複数回答可）



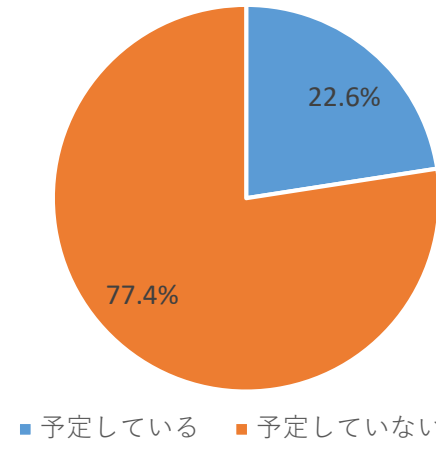
Q 3. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）



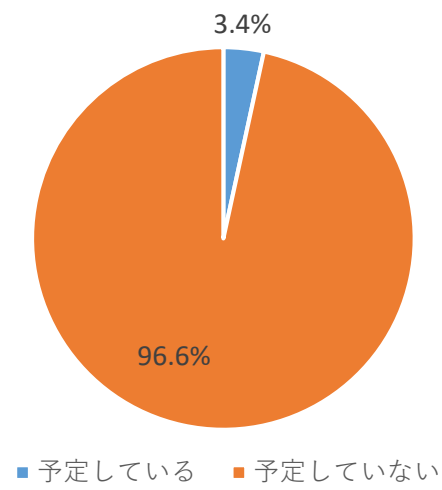
5 地域と連携した防災訓練の実施



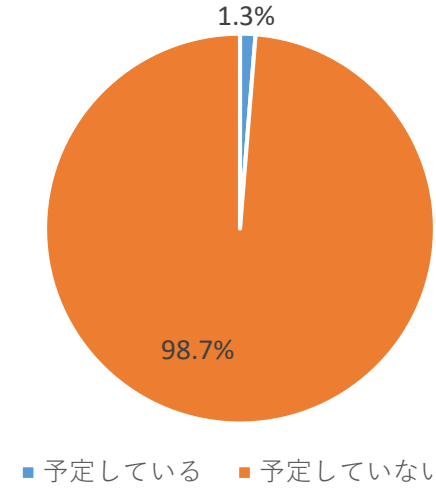
6 地域への説明会の実施



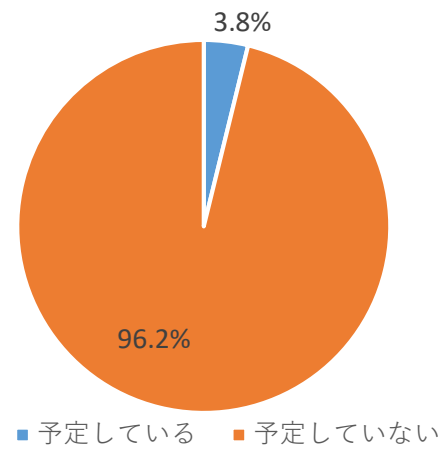
7 地域の方々への個別訪問



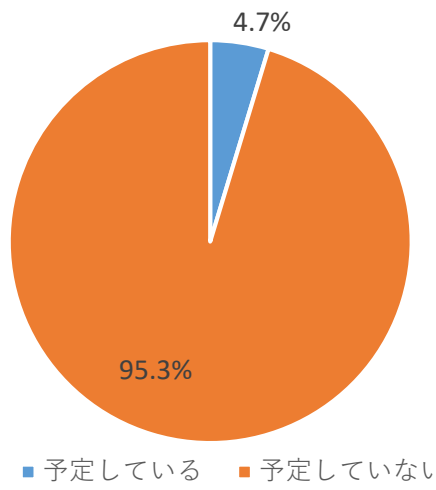
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加



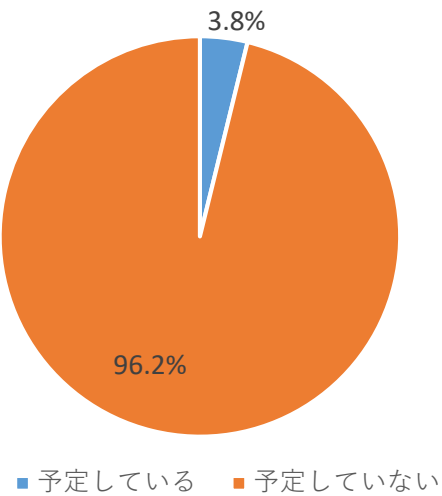
9 自治会の集會に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明
(会の設営、主催は地域の方々)



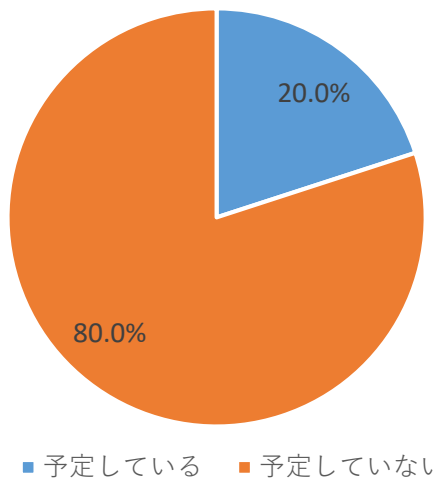
10 地域の方々との懇談会、懇親会等（会の設営、主催は地域の方々）

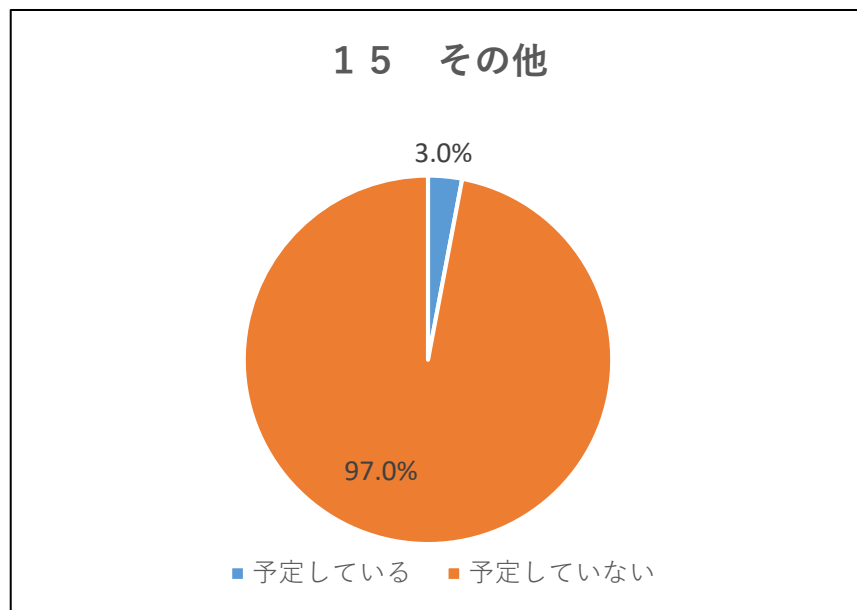
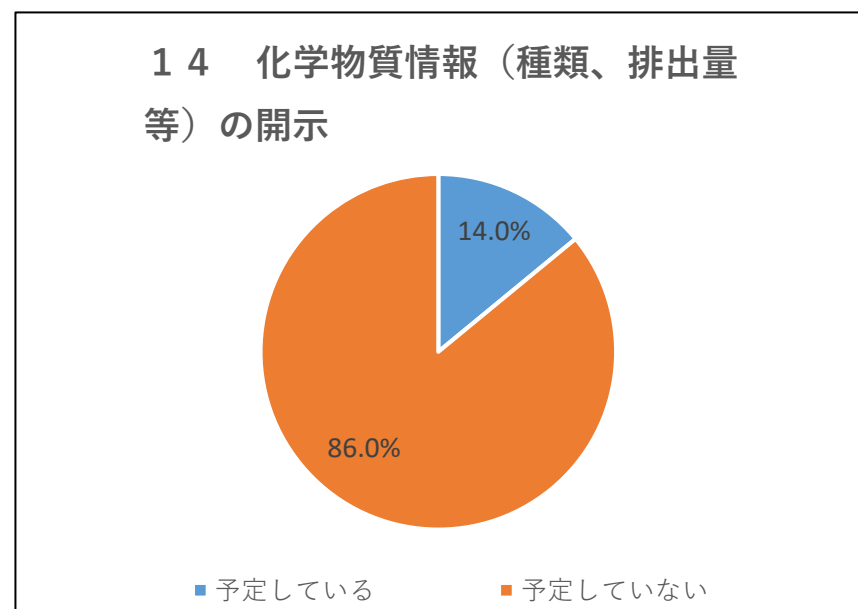
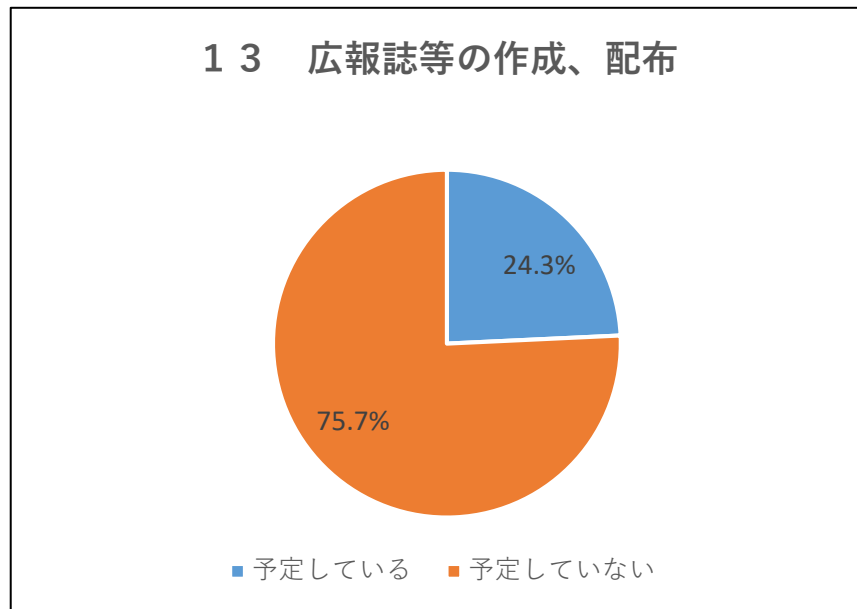


11 小・中学生を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等

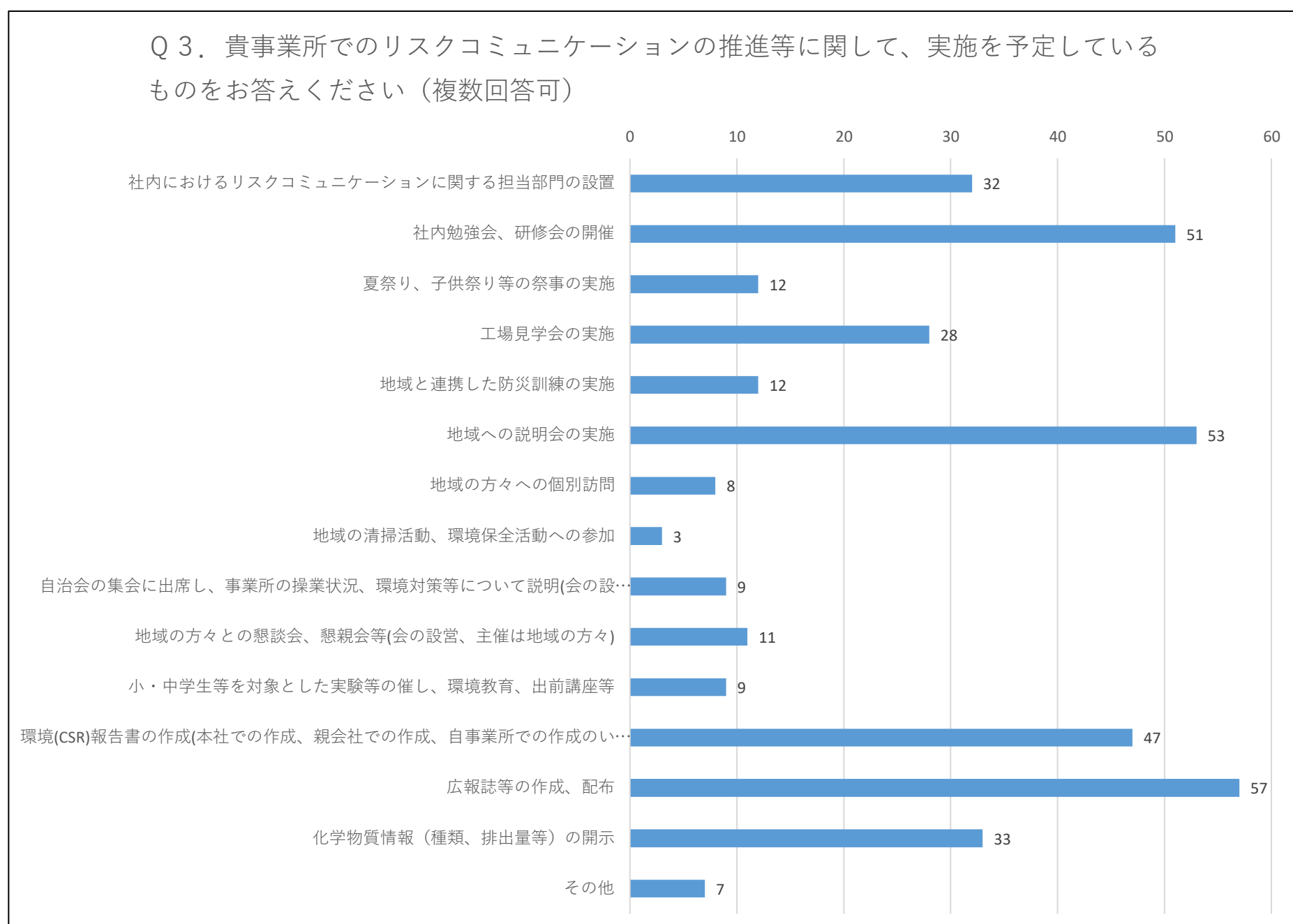


12 環境（CSR）報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい）

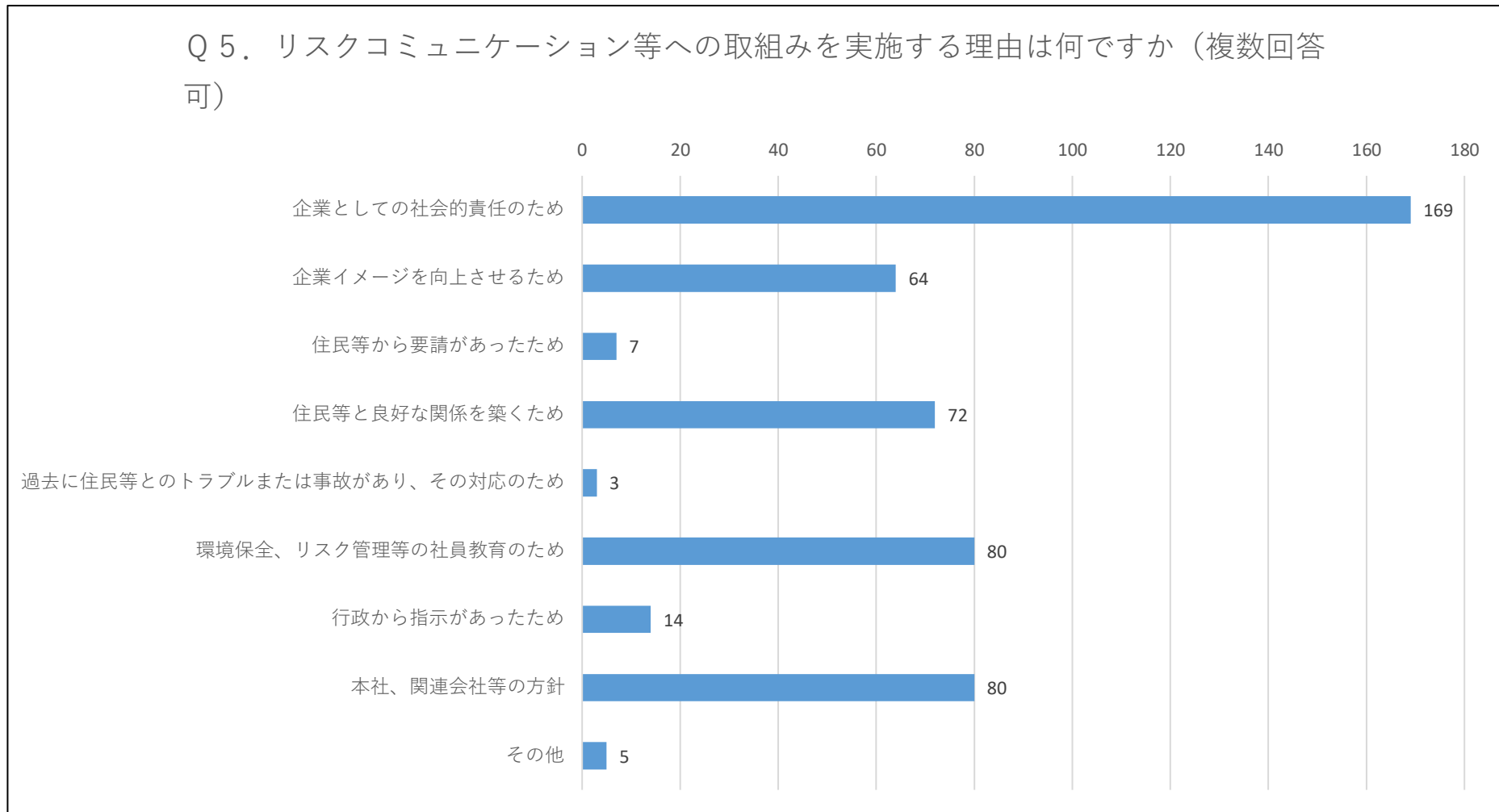




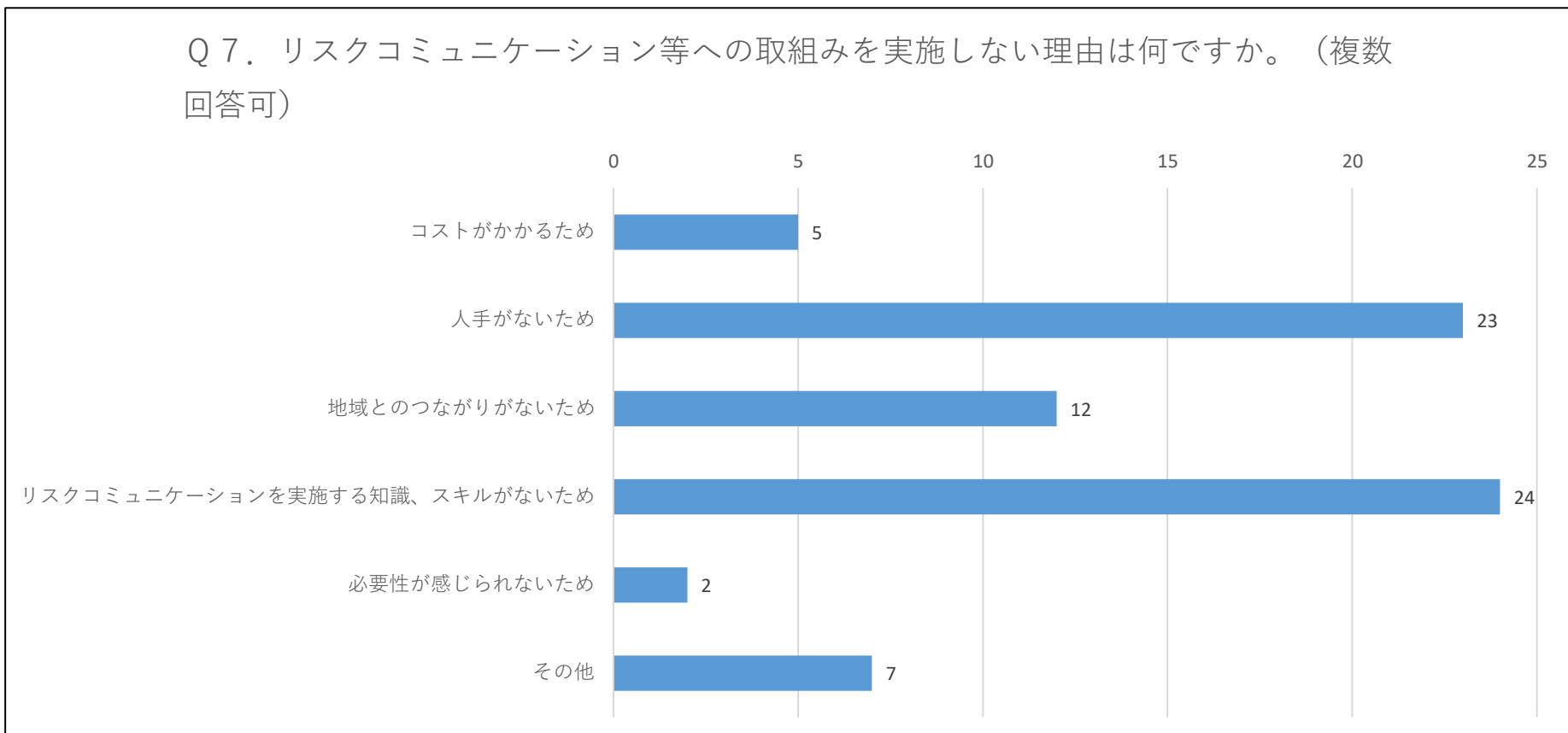
Q3. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）



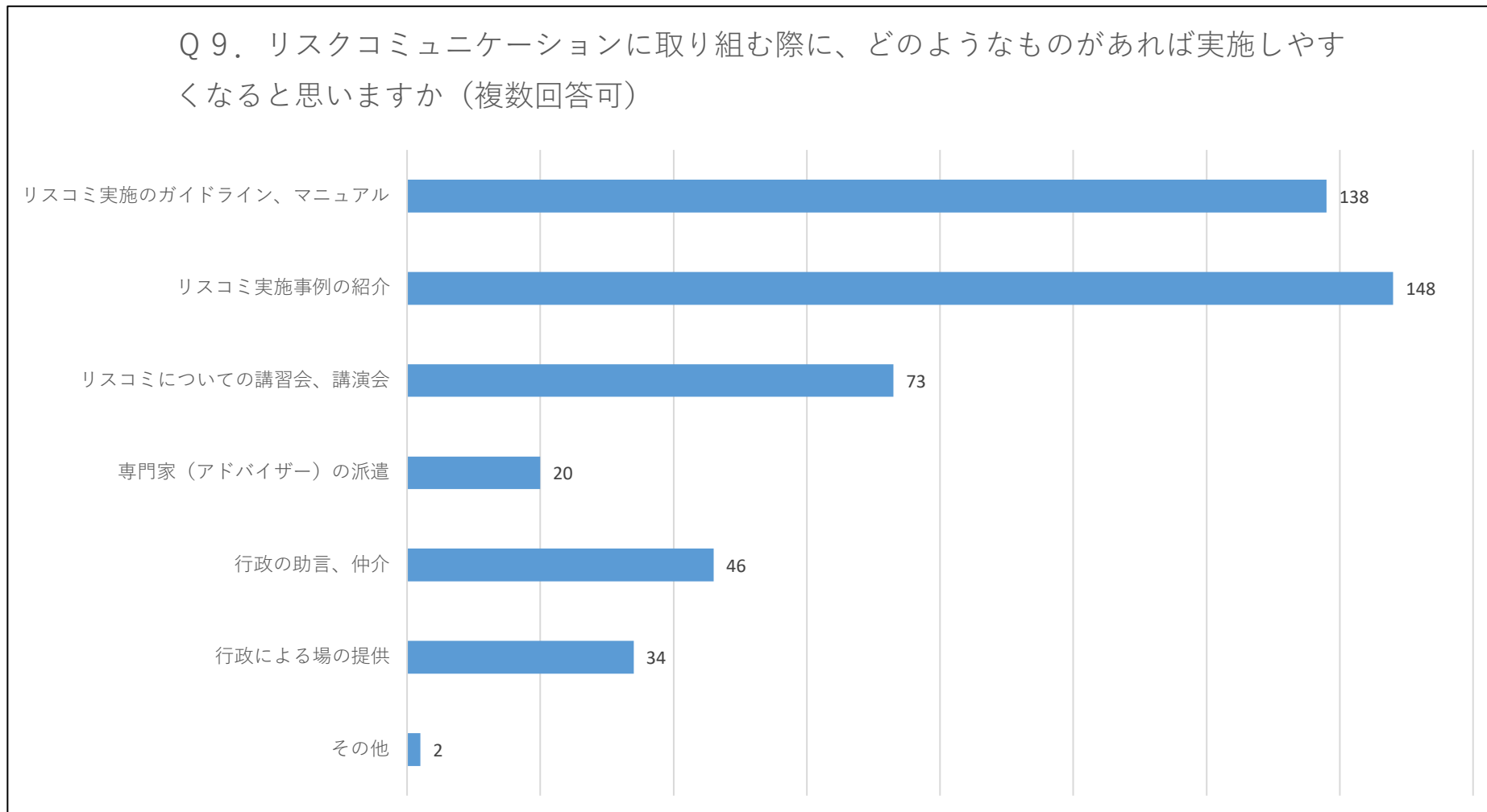
Q 5. リスクコミュニケーション等への取組みを実施する理由は何ですか。（複数回答可）



Q 7. リスクコミュニケーション等への取組みを実施しない理由は何ですか。（複数回答可）



Q 9. リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。（複数回答可）



Q 12. 外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか。

